



第397号＜令和7年(2025年) 6月3日＞

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員
島崎 三步 の「**山岳通信**」

長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報を提供しています

<https://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/index.html>

■先週の山岳遭難発生状況

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
5/26 月	北アルプス 奥穂高岳	女	50	負傷	転倒	単独 で涸沢から奥穂高岳に向けて登山中、滑落、負傷
5/27 火	北アルプス 霞沢岳	男	30	無事救出	不明	単独 で霞沢岳に入山し、道に迷い、行動不能に
5/28 水	北アルプス 蝶ヶ岳	男	79	負傷	滑落	2人パーティで横尾から蝶ヶ岳に向けて登山中、転倒、負傷
5/28 水	北アルプス 蝶ヶ岳	男	84	無事救出	疲労	上記遭難者の同行者。疲労により、行動不能に
5/29 木	守屋山	男	81	無事救出	疲労	2人パーティで守屋山(諏訪市と伊那市との境)から下山中、疲労により、行動不能に
5/30 金	北アルプス 蝶ヶ岳	男	49	負傷	滑落	単独 で蝶ヶ岳から下山中、滑落、負傷
6/1 日	北アルプス 北穂高岳	男	77	負傷	滑落	単独 で北穂高岳から下山中、滑落、負傷
6/1 日	北アルプス 槍ヶ岳	女	30	負傷	滑落	2人パーティで槍ヶ岳から東鎌尾根を下山中、滑落、負傷
6/1 日	北アルプス 槍ヶ岳	男	40	無事救出	その他	上記遭難者の同行者。技量不足により、行動不能に
* 行方不明者の発見						
5/19 月	戸隠連峰	男	39	死亡	転落	単独で戸隠連峰に入山したまま行方不明に(1/5 認知)。何らかの原因で転落、遺体で発見
5/26 月	雨飾山	男	52	死亡	不明	単独で雨飾山に入山、5/19 以降、行方不明に。遺体で発見

■山岳遭難発生状況～令和7年(2025年)1月1日～6月1日

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和7年	105	23	4	50	45	122	77
うち)単独登山	47	14	4	16	13	47	34
令和6年	98	19	0	38	55	112	57
うち)単独登山	36	10	0	11	15	36	21
前年同期比	+7	+4	+4	+12	-10	+10	+20
うち)単独登山	+11	+4	+4	+5	-2	+11	+13

■長野県警 山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

先週、長野県内では、9件の山岳遭難が発生しました。**昨年の発生件数を上回る早さで前年同期比+7件となっています。**

北アルプスなどの標高の高い山域では、いまだ多くの残雪があり、ピッケルやアイゼンなどは必須装備です。

5月27日に発生した北アルプス霞沢岳における道迷い遭難は、3日後の29日に捜索中の消防防災ヘリに発見、救助されました。遭難者は、チェンスパイクのみで、ピッケルは所持しておらず、残雪期の登山装備としては準備不足の感が否めません。しかしながら、アクシデントに備えた装備(防寒着、ガスバーナー、レスキューシート、食料)を携行していたこと、サバイバルの知識があったこと、また臨機応変に落ち着いて判断できていたこと等が生還の要因となりました。特に、沢の水が確保できたことや無闇に動かずに体力を温存し、持っていた装備をフル活用して諦めずに救助を待ち続けたことは適切な判断でした。

救助後、遭難者からは、『スマホの地図アプリだけでなく、紙地図やコンパスの携行は必要。登山講習や雑誌などで学んだことが生かせたので、山を歩くための知識や技術の大切さを実感した。とはいえ、登山する山に適した装備品が足りておらず、雪がそんなに多くないと思って過信してしまった』との反省の弁がありました。

このように登山中はどんなアクシデントが待ち受けているかわかりません。装備品の携行と使い方を熟知し、**山を甘く見てはいけません。**登山中は、冷静な判断と何よりも安全を最優先した行動をお願いします。

■山域別発生状況～ 令和 7 年(2025 年)1 月 1 日～6 月 1 日

区分		件数	件数 比率	死者	行方 不明	負傷者	無事救出	遭難者 計
北アルプス	槍穂高	15	14.3%	4	0	7	6	17
	後立山	19	18.1%	4	1	9	12	26
	その他	19	18.1%	0	0	14	8	22
	計	53	50.5%	8	1	30	26	65
中央アルプス		9	8.6%	3	1	3	3	10
南アルプス		2	1.9%	0	1	1	0	2
ハヶ岳連峰		13	12.4%	3	0	8	3	14
その他の山岳		28	26.7%	9	1	8	13	31
計		105		23	4	50	45	122

■態様別発生状況～ 令和 7 年(2025 年)1 月 1 日～6 月 1 日

区分	件数	件数 比率	死者	行方 不明	負傷 者	無事 救出	遭難者 計
転・滑落	38	36.2%	13	0	27	0	40
転倒	19	18.1%	1	0	18	0	19
病気	5	4.8%	2	0	0	3	5
道迷い	18	17.1%	0	0	0	26	26
落石	1	1.0%	0	0	1	0	1
雪崩	2	1.9%	1	0	1	1	3
落雷	0	0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	3	2.9%	0	0	0	4	4
不明・他	19	18.1%	6	4	3	11	24
計	105		23	4	50	45	122

■男女別・年齢別発生状況 ～ 令和 7 年(2025 年)1 月 1 日～6 月 1 日

区分	男性					(人)	女					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19 歳以下	0	0	0	3	3	25 26.3%	0	0	0	0	0	9 33.3%	3	34 27.9%
20 代	0	0	1	9	10		0	0	1	4	5		15	
30 代	3	1	3	5	12		0	0	2	2	4		16	
40 代	4	1	8	3	16	40 42.1%	1	0	2	1	4	12 44.4%	20	52 42.6%
50 代	6	0	9	9	24		0	0	8	0	8		32	
60 代	4	1	7	6	18	30 31.6%	0	0	5	0	5	6 22.2%	23	36 29.5%
70 以上	5	1	3	3	12		0	0	1	0	1		13	
計	22	4	31	38	95		1	0	19	7	27		122	
率	77.9%						22.1%							

■登山計画書を作成・提出しましたか？



- ①ゆとりある計画を立てて、登山計画書を提出してください！
- ②家族や知人にも必ず詳細な予定(行先)を伝えましょう！

※登山計画書の提出し、情報を共有しないと、入山場所や遭難地点の特定に時間がかかり、捜索活動が遅くなってしまいます。

■信州登山案内人が「一期一会」の山旅をお手伝いします！

はじめて登山をされる方、久しぶりに登る方、山をもっと知りたい方……。長野県が実施する筆記・実技試験に合格し、知事の登録を受けた山岳ガイド「信州登山案内人」と一緒に山旅を経験してみませんか。信州の山に精通した山岳ガイドが、楽しく、安全・安心な登山のお手伝いをいたします。詳細は、長野県 HP (山岳情報) をご確認ください。

▼信州登山案内人名簿はこちらです。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/tozan/annainin/index2.html>

▼長野県内の登山案内人組合・山岳ガイド協会ははこちらです。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/tozan/kumiai.html>

■あまとみトレイル(長野駅～斑尾山)西野発電所の吊り橋は、通行止め継続！

5月下旬に開通予定だった西野発電所(新潟県妙高市杉野沢)の吊り橋は、冬の間の大雪のため、手すり等の破損が確認されました。管理元の東北電力によると、復旧の見通しは立たない状態だということです。迂回路等の詳細は、あまとみトレイルの HP をご確認ください。

<https://amatomi-trail.club/archives/202505232/>

■山小屋情報ポータルサイト～山小屋の開設(営業)期間を更新しました。

春山シーズンの幕開けにあわせて、営業が始まった山小屋や夏山シーズンの営業を予定している山小屋の開設期間を順次、更新しています。長野県 HP (山岳情報～山小屋情報ポータルサイト) でご確認ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/sotaiiko/yamagoya/yamagoya.html>

■「山岳遭難の現場から No.9」が発行されました！

長野県警山岳安全対策課では、春の大型連休中に八ヶ岳連峰で発生した実際の遭難事例を掘り下げ、その原因や背景を検証しました。リポートは、登山の抱えるリスクや遭難の実態を大勢の登山者に知っていただくとともに、遭難という最悪の事態を回避する具体的な対策について考える迫真の内容となっています。ぜひ、ご覧ください。

https://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/mountain_rescuefile.html

* 内容は、長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光スポーツ部山岳高原観光課」までお寄せください。

mt-tourism@pref.nagano.lg.jp

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝